

環境基本計画検討部会 会議録

1. 会議名 平成 27 年度 第 10 回東久留米市環境基本計画検討部会
2. 日 時 平成 27 年 9 月 14 日 (月) 午後 13 時 30 分から午後 16 時 30 分
3. 場 所 東久留米市役所 2 階 203 会議室
4. 出席委員氏名 (敬称略) 重藤さわ子 (部会長)、水戸部啓一 (副部会長)、田中直子、豊福正己、米村ひみ子、
5. 欠席委員氏名 (敬称略) 遠藤毅彦、小泉勝巳
6. 事務局職員名 小林尚生環境安全部長、荒島久人環境政策課長、小平卓係長 (計画調整係)、藤井華子主事 (計画調整係)
7. コンサルタント会社 (株式会社 総合環境計画) 花田浩一、植田恵理
8. 傍聴人 なし
9. 議題
 - (1) 第 9 回環境基本計画検討部会会議録 (案) の確認について (資料 1)
 - (2) 現計画 1 章・2 章について (資料 2)
 - (3) 現計画 3 章について (資料 2)
 - (4) 現計画 4 章について (資料 2) (資料 3)
10. 配布資料
 - 第 9 回環境基本計画検討部会会議録 (案) …資料 1
 - 環境基本計画 (1 章・2 章・3 章・4 章) について …資料 2
 - 環境基本計画 (1 章・2 章) について …資料 2
 - 他都市の環境会議の事例 2 …資料 3

11. 平成 27 年度第 10 回環境基本計画検討部会

・出席者の報告 出席 5 名、欠席 2 名、定足数に達しており会議は成立

(1) 第 9 回環境基本計画検討部会会議録（案）の確認について（資料 1）

【事務局】内容に変更がなければ、委員の名前を伏せてHP上で公開する。修正箇所がある場合は本日中に事務局に連絡してほしい。

【部会長】本日中に連絡のない場合は承認されたものとする。

(2) 現計画 1 章・2 章について（資料 2・資料 2'）

【コンサルタント】

・資料 2 の 1 章・2 章の修正点を説明

【委員】

・資料 2 に対する修正案として資料 2' の 1 章・2 章を説明

【部会長】将来像の部分は、イメージ写真などを追加すると良いと思う。

【委員】絵でも良いと思う。緑の基本計画が参考になる。環境基本計画の将来像も絵で表せるようなイメージで修正した。また、全体の構成についても議論して欲しい。

【部会長】それでは、1 章・2 章について議論する。本日は、各章の構成について最終的な確認をするとともに、次の段階として編集の方針も決めたい。わかりにくい部分の修正、長すぎる文章の圧縮、写真や絵のレイアウトなど、具体的にページ数を示して固めていきたい。それでは、委員の修正案について意見はあるか。

【委員】1-3 は問題ないと思う。1-4 から議論してはどうか。

【部会長】それでは、1-3 は承認ということでよいか。

【委員】第二次環境基本計画は第一次環境基本計画の改定であることを 1-3 に記載する必要はないか。

【委員】それは 1-2 に記載してある。

【部会長】それでは 1-1 から議論する。1-1 について意見があるか。文章のボリュームは適切だと思う。

【委員】1-1 と比較すると 1-2 の文章量が多いように感じる。

【部会長】その意見に賛成する。2/3 くらいに減らすのが妥当だと思う。1-1 と同じくらいか、それが無理としても、もう少し減らした方が良い。

【委員】1-2 を読めば内容が全部わかるほど情報量が多い。

【部会長】これについては一度事務局主体で編集作業をしてもらい、改めて部会で内容を審議することも考えられるが、この場で不要な部分の提案があれば作業が早く進むと思う。一度全文を音読してみたいと思う。

（部会長 1-2 全文音読）

最後の「編集にあたっては～」という部分は必要か。

- 【委員】 策定主旨の重要な部分であるため必要だと思う。
- 【部会長】 第二段落の進捗と課題の部分について検討が必要だと思う。
- 【委員】 確かに第二段落は書きこみすぎている。
- 【部会長】 前半は主旨というより、これまでの取り組みの概要になっている。
- 【委員】 第二段落は不要ではないか。これまでの取り組みの過程は載せる必要がないと思う。「中間見直しは行ったけど、まだまだ課題があって、課題を解決するために改定します。」という書きぶりではどうか。
- 【委員】 それでも良いが、今までの取り組み、努力を載せる必要もあると思う。
- 【部会長】 「第二次環境基本計画の策定に向けた課題」として、課題を箇条書きにしてみてもどうか。さらに「この課題のために第二次環境基本計画の改定を行います。」としてはどうか。
- 【委員】 最初に「第二次環境基本計画の策定に向けた課題」を書くと、後段の 1-4 と重複してしまう。
- 【委員】 ここは文章で訴えたい部分である。第二段落は中間見直しの成果くらいにして、第三段落は残してはどうか。
- 【部会長】 それでは、そのような方針で事務局に修正をお願いしたい。
- 【委員】 事務局としては、今までの取り組みの過程を載せたいのではないか。
- 【部会長】 少しページが先に飛ぶが、P7 の 1-4 (1) は現在の書き方だと見づらいと思う。表組みにするなら、必要な文章は表の上部に記載して、表の中は箇条書きで良いと思う。活動と評価に関わった人には重要な内容であるが、それ以外の人にとっては詳細すぎると思う。表を見ただけで内容がわかるよう、表の中の記述を簡単にしてはどうか。
- 【委員】 P3 の第二段落は、文章だと時系列がわかりにくいいため、年表の形にしてはどうか。
- 【委員】 その意見に賛成する。年表であれば、文章ではなく絵的に表現することができる。
- 【委員】 「湧水・清流保全都市宣言」は重要だと思う。年表に入れてもらえると残る。
- 【部会長】 第二段落を年表にして、第一次環境基本計画策定から、中間見直しを経て現在の第二次環境基本計画に至るまでの経緯を表現する。これで異論ないか。
- 【事務局】 年表にする項目を確認したい。第一次環境基本計画策定、中間見直し、湧水・清流保全都市宣言、第二次環境基本計画改定の他に何かあるか。
- 【委員】 トピックス的なものを選んで入れて欲しい。
- 【事務局】 条例を作ったことや、湧水・清流保全都市宣言の全国大会開催はどうか。
- 【部会長】 良いと思う。
- 【委員】 今までの過程がすごくわかりやすくなる。
- 【部会長】 次に 1-3 について議論したい。委員の修正案が出ているが、意見があるか。

フォントが統一されていないところが少し気になるがどうか。表の中は明朝体、その他はゴシックである。

【委員】フォントの種類や大きさを適正なものにするにはデザイナーが必要である。

【委員】カッコの中の文字を太字にしているが、これは太字にしなくて良いと思う。

【委員】太字が不要な部分もある。ボランティアでデザインをお願いできるところはないか。

【部会長】東久留米市にお住まいで、編集などのご経験がある方にお願ひできないか。

【委員】アドバイスだけでももらえないだろうか。予算の都合もあるので、難しいのは承知している。

【部会長】委員の方の知り合いでデザイナーがいるかどうか。一度保留にして、各自で声掛けなどをしてみてはどうか。

【事務局】編集作業はパブコメ中にやっても良い。

【部会長】それでは、市民の力を借りる方法も含めて各自模索しておいていただきたい。

【委員】基本的に本の作り方はコンサルタントに任せていいのではないか。

【コンサルタント】もちろん、基本的な部分に対応する。

【部会長】従来の行政計画の製本・レイアウトの慣例がある中で、どこまで追求するか。

【委員】緑の基本計画は、写真などもたくさん使われている。

【部会長】写真を入れるといったレベルの話で良いのか、あるいはデザイナーを入れて本格的な編集作業までするのかは議論しておいた方がよい。

【委員】東京都の防災の指針は、気鋭のデザイナーが手掛けていて、とても見やすかった。行政が出した本ではないような印象を受けた。

【委員】プロに入ってもらおうと仕上がりが全然違う。

【部会長】環境基本計画もできる限りこれまでより良いものを作るとして、デザイナーや編集についても現実的などころを考えなくてはいけない。写真をどれくらいどこに配置するか、フォントをどうするかについてはデザインの経験のある方にアドバイスをもらうなどで対応できるかもしれない。ただし、全体的にプロの目で見てもらおうとなると、それなりの費用が必要となる。

【委員】アドバイスをもらう程度でいいと思う。本格的にデザイナーを雇う必要はないが、なにか違うなどと思わせるような出来にしたい。

【部会長】予算や契約の都合もある。市民の力を借りるにも、委託でお願いするにも1カ月は検討に充てたいと思うが、よろしいか。

(一同同意)

【委員】1-3 (5) の地図についてだが、楊柳川が長すぎる。水路の跡はあるが市境までは伸びていない。また、黒目川だが途中で途切れている。西妻川の最後曲がっているところは不要だと思う。

【部 会 長】この図の基になっているのは何か。

【コンサルタント】河川網図の GIS データである。

【事 務 局】河川網図だと楊柳川は用水路が残っているところまで示されている。豊福委員から別途、手書きでも良いので修正案を示してもらえればと思う。

【部 会 長】委員に修正案を示してもらうことにするが、良いか。

(一同同意)

【部 会 長】次に 1-4 の議論に入る。この項目は「進捗状況と評価」となっているが、前回の部会で議論のあった「課題」という単語が多すぎるという点について修正を行っていただいた結果「評価」という表現に変わっている。しかし「評価」と表現することで、わかりづらくなっている部分もあると思う。課題に戻す必要はないが「評価」という表現については、再考する必要があると思う。

【委 員】表の中は「課題」という表現でも良いと思う。

【部 会 長】評価の中では進捗状況と課題を記載している。そのため「課題」と表現しても良いのではないかと思った。また、進捗状況の細かい記述は必要だと思うが、その上に箇条書きで例えば「水質は改善」など一言で状況を表すことができるキーワードが入ると理解しやすいと思う。

【委 員】単純に一言で表せないものも結構ある。

【部 会 長】それもそうだが、表の中の書き方が文章で「改善されてきています。」「改善が続けられてきていました。」というような表現が分かりやすいかどうか。

【委 員】どこまで詳細に書くかを議論する必要がある。「進捗状況」には取り組みの結果と評価した結果が記載されている。「改善してきています。」というのは結果の評価にあたる。結果というのは、例えば BOD の数値などが言える。今はそれが併せて記載されている。

【部 会 長】結果、証拠があって評価につながるが、今はそのレベル感で書かれていない。

【委 員】ある目標があって、その代表的な数値があって、それが良くなったから「良くなりました。」と書いてある。それを逆転させることも考えられる。「この目標に対して達成しました。」なぜなら、「結果はこれです。」という方がわかりやすいかもしれない。ただし、すべての項目をそれで書けるかどうかはわからない。確かに 5 行も 6 行も読まなくてはいけないのは、わかりやすいとは言えない。

【部 会 長】一方でこの情報が必要だということも理解している。「進捗状況」と「評価」の 2 項目があり、その二つの整合性を見なくてはいけないため複雑化しているように思うがどうか。

【委 員】どのようにすれば良いか検討する必要がある。例えば、これを文章で表現したものが中間見直しの評価にあたる。読めば文章の方がわかりやすいが、

読まないケースの方が多いかもしれない。

【委員】見やすさでは、表の方がよい。

【部会長】現状の表形式でも読むかどうか。関係者は読むかもしれないが。

【委員】キャッチフレーズ的にキーワードを配置すると、確かにわかりやすいが誤解を招く危険性もある。

【部会長】言葉が一人歩きしてしまう可能性もある。そこで、一つの解決策として、現状の表に要約が書かれているので、個別目標ごとに進捗状況の部分だけ残してはどうか。試してみないとわからないので、一度こちらで検討・修正しても良いだろうか。

【委員】中間見直しを基に書かれているので、中間見直しを読んで、フレーズを決めて作って頂くと良いと思う。

【部会長】それでは 1-4 の「計画の進め方に対する評価」も含めて、1-4 の (1) については、こちらで検討・修正したいがよろしいか。

(一同同意)

【委員】個別目標 3 の進捗状況についてだが、「少なくとも 3 種類の絶滅危惧種」という表現はしない方が良いと思う。絶滅危惧種といっても国レベルなのか、都レベルなのかで数が変わってしまう。川沿いでは少なくとも 3 種類か 4 種類はあるが、東久留米市全域にすると数が変わってしまう。明確に「3 種類」と記載するのは避けた方が良い。

【委員】「少なくない」ではどうか。

【部会長】「絶滅危惧種をはじめとした、多様な～」としてはどうか。

【委員】その表現の方が良い。

【委員】この項目自体が必要なのかどうか。

【委員】東久留米市に国指定の絶滅危惧種がこれだけいるのはすごいことである。自慢していいところである。

【事務局】現在、東京都の保全地域と河川における絶滅危惧種をまとめているところである。それを基にすれば、数の表記も可能ではないか。

【委員】それでも数は表記しない方が良いと思う。きちんと表記するとなると国や都のデータを基にすることになるが、そうすると数が多くなってしまう。間違いだと指摘されない表現が良い。

【委員】進捗状況には取り組んできた内容を書くべきである。絶滅危惧種も大事だが、そこが抜けてしまっただけでは困る。

【事務局】ここは絶滅危惧種を守ってきたということを書いている。

【委員】それならば、「減少していない。」や「守りました。」というのが進捗状況に書くべきことである。また、評価については、「東京都がやってこなかった」ということは、書いても仕方がないと思う。

【部会長】その部分は「全体把握は行われていません」だけで良いのではないか。

- 【事務局】ここは「市民」と「東京都」の調査は「行われている。」として、ただし、その調査はバラバラであるということを書いている。
- 【委員】そうであるならば、市民や東京都が生き物を調査したということは進捗状況に書くべきである。評価（課題）の方では、全体の把握が必要ということになる。
- 【部会長】進捗状況と評価の対応関係を矢印で結んではどうか。
- 【委員】矢印を入れなくとも、文章に隙間を空けて対応すれば良いと思う。ただし、進捗状況と評価が必ずしも対応していないものもある。
- 【委員】今まで関わってこられた方はわかるが、初めて読む人にとって、1-4は第一次計画からのつながりがよくわからない。
- 【委員】P4に「第一次環境基本計画では、」と説明を入れているが、簡単すぎたかも知れない。図を挿入すればわかりやすくなるが、ページがかさんでしまう。
- 【委員】個別目標が6つであったのが、中間見直しで7つになって、今回で8つになるということか。
- 【委員】そうである。
- 【委員】その経緯もわかりにくい。
- 【委員】それはその通りであるので、わかりやすくする必要がある。
- 【部会長】参考資料を付けてはどうか。
- 【委員】初めて読む人は、参考資料からは読まない。
- 【委員】同じページ中に解説が必要ということか。
- 【委員】他市の計画でそういった解説付きのものがあつた。「3つの基本目標」とあるが、それについての説明がない。
- 【委員】これについてはもう少し丁寧に説明するべきだと思う。個別目標は下に書いてあるので、3つの基本目標について書く必要がある。
- 【部会長】各個別目標の上に基本目標を入れてはどうか。
- 【委員】この計画は第二次環境基本計画であるため、第一次環境基本計画を詳しく書く必要はないと思う。ただし、読む人がわかるレベルで説明することは大事である。
- 【部会長】第一次環境基本計画から中間見直しの経緯を書く必要がある。
- 【委員】経緯までは書く必要はないと思う。まず3つの基本目標を明確にすること、それから表組みの部分だが、各個別目標の上に基本目標を入れるべきである。
- 【委員】中間見直しなどの経緯は必要ないか。
- 【コンサルタント】P3で年表を入れることになったので、経緯の部分はそこで表記されると思う。
- 【部会長】年表の部分に新たに追加された目標等を注釈として入れてはどうか。
- 【委員】第一次環境基本計画と第二次環境基本計画の違いを表現できていない。
- 【委員】基本的には前段で説明済みである。策定当初からの解説を入れるとなると、全部つなげなければならない。

- 【委員】詳しく読む人はわかるかも知れないが、補足として必要な情報を入れてもらえるとうわかりやすい。
- 【委員】それは大事なことである。第一次環境基本計画から変わったことや、これから第二次環境基本計画で変わっていくことは関心のあるところである。変わることが重要であるならば明記する必要があるが、変わることよりも新たにに取り組むことの方が大事な場合は、新たに取り組むことをきちんと表現して、どう変わったのかというのは資料編でも良いかと思う。第一次環境基本計画から変わることが大事なのか、第二次環境基本計画で新たに取り組むことの方が大事なのかの議論である。
- 【委員】以前、個別目標が6つから8つに増えたことが大事だとの議論があったので、6から8に増えた意味を書いた方が良いと思った。
- 【委員】それは参考資料に入れてはどうか。第一次環境基本計画の体系と第二次環境基本計画の体系を並べて示してはどうか。
- 【部会長】その上で、第二次環境基本計画改定に至るまでの変化のポイントを入れたら良いと思う。
- 【委員】中間見直しのように、前の計画があって、次の計画を見直すという時はその表現方法で良いが、今回の第二次環境基本計画は一つの独立した計画である。もちろん第一次環境基本計画からの課題は引き継ぐが、第二次計画として完結しないといけないと思う。
- 【委員】資料編に添付すれば良いのではないかと。市民環境会議の水とみどり部会では、「第二次環境基本計画は第一次環境基本計画からは基本的には変わっていないが、個別目標8の協働の部分は新たに増えた」と説明している。細かく見ると第一次環境基本計画から変わっているところは結構あるので、比べられるようになっていると説明しやすい。
- 【委員】第一次環境基本計画から知っている人はそれでいいが、初めて読む人はそうはいかない。誰に向けて書くかということである。
- 【委員】資料編に入れれば良いと思う。
- 【部会長】注釈は大きな文字で付けた方が良い。委員の修正案の1-4(2)(3)のようなイメージである。参照先は大きくてわかりやすいところが良いと思う。一般の目から見た意見は重要である。
- 【委員】「計画の進め方に対する評価」は表組みのままで良いか検討したい。
- 【委員】「個別目標の進捗状況と評価」の項目に続いているように見える。
- 【部会長】この項目もこちらで検討したいがよろしいか。
- (一同同意)
- 【部会長】次にP7の議論に移る。このページは委員が修正したのものだが、この方向性は良いと思う。参照元の資料や計画がわかりやすくなっている。この計画は環境基本計画である。関連計画は、詳しく載せる必要はないと思う。

- 【委員】参照したい計画があればインターネットで見ることできる。市の計画はすべてインターネット上で公開されている。資料編の中にURLを入れると良い。QRコードを入れた例もある。
- 【部会長】1-4(4)について意見あるか。これは第4章、第5章に対応している。課題に対応しているという整理である。
- 【委員】ただすべてが、第4章の「期間内に強化する主な施策」に対応しているわけではなく、各個別目標の中にエッセンスは取り込んでいる考え方である。
- 【部会長】1-4の方向性については議論の通りで良いか。
- 【委員】もう少し、シンプルでも良いかもしれない。
- 【委員】P7、計画策定年の記載があるが、月の記載がない。通常は3月策定であるが、4月策定もあったと思う。
- 【部会長】この修正はコンサルタントにお願いしたい。
- 【コンサルタント】月まで明記するよう修正する。
- 【部会長】(4)は、もう少し簡単にできないかとの議論があったので、委員に案をお願いしたい。
- 【委員】了解。
- 【部会長】次に第2章の議論に移る。2-1は委員の修正案を基本に、写真や絵などを入れて目指す姿を想像できるようにするという方針でよろしいか。写真や絵の選定は、事務局から案の提示をお願いしたい。
- 【事務局】了解。
- 【委員】修正案で記載した文章部分も東久留米市の環境がイメージできる内容になっているか検討をお願いしたい。
- 【委員】一文が長い気がするので、二つくらいに分けてみてはどうか。内容はこの案で良いと思うが、少し修正したい。
- 【事務局】それでは、この文章は二人の委員に検討をお願いしたい。
- 【委員】了解。
- 【部会長】次に2-2の基本方針と個別目標について議論したい。少し文章が長いと思うがどうか。
- 【委員】長いと思う。検討をお願いしたい。
- 【委員】2-2と2-3は順番を入れ替えてはいけないのか。
- 【委員】計画の体系を入れ替えた方がわかりやすいのだが、ここは、なぜ「基本方針と個別目標」が出てきたかということを説明しようとしている。
- 【委員】わかりやすくするには、将来像の次に2-3を見せて、個別目標を説明した方が良いと思う。
- 【委員】基本方針を先に書くのも良いかもしれない。
- 【部会長】確かに将来像からのつながりが良くないかもしれない。
- 【委員】3章の前に体系がある方がつながりが良い。計画の体系はそのままが良いと

思う。環境像のイメージを作るのは、基本方針であるから、基本方針の1、2、3を1ページにまとめた方がわかりやすいと思う。

【コンサルタント】基本方針1、2、3を1ページでおさめて、個別目標は入れないということの良いか。

【委員】その書き方で良いと思う。

【コンサルタント】基本方針1、2、3は今までの議論の中で肉付けされてきていて、データのな文章もある。今日までの議論を踏まえて検討する。

【部会長】それでは、2-2はコンサルタントの方で修正をお願いしたい。

【コンサルタント】了解。

(3) 現計画3章について(資料2)

【コンサルタント】・3章の修正箇所について説明。

【部会長】全体的な話であるが、例えばP25の「水辺を学び、ふれあう場として活用する」の文中「市民と行政が協働」は「市民と行政が協力」と修正した方が良い。同様の記載が他にもあるので、関連して修正してほしい。

【委員】P27の下「農業を継承するための活動と支援」となっているが、これは「農業を支える取り組みを推進する」が正しい。

【事務局】P28「公園や公共施設の緑を増やし、守り育てる」の表中、「公園の再整備」とあるが、「公園の整備」に修正したい。

【委員】「〇みだし」の下の文章は、改行して二つの箇条書きにすると意味が変わってしまうので、一つの段落におさめるべきである。他の頁にも同様の箇所があるので修正した方が良い。

P32「エネルギーの使用を抑制する」の文中に「省エネに取り組むとともに」を追記してほしい。

P39「事業所や工場、施設等からの大気汚染を防ぐ」の文中にごみ焼却のダイオキシンに関する記述があるが、表中にも記載があるので、敢えて文章にしなくても良いと思う。

【部会長】P39「事業所や工場、施設等からの地下水や土壌の汚染を防ぐ」の文中に「農業において～」とあるが、農業がクローズアップされている印象があるので、カッコ書きで「(農業者を含む)」くらいの表現が良い。

【委員】全体に関わるが、読点が多いと意味が変わってくるので、不必要に読点を付けない方が良い。

P45の「学校での環境学習の機会を作る」の下の「地域教育の一環として」は、ここまで記載して良いのか。

【委員】以前「地域の特色に応じて」となっていたところを、東久留米市としての地域教育にするという議論があった。

【事務局】環境教育を積極的に取り入れることは良い取り組みとして庁内でも了解し

ているので、「地域教育の一環として」という文言が適切なかどうかを確認したい。

また、P44「環境情報を発信し共有する」の文中に「地域の学習拠点である図書館」という記述があるが、「図書館をはじめとする地域の学習拠点」という表現に改めたい。

【委員】P46「環境を学ぶ機会を増やす」の文中に「機会を開催します」とあるが、「機会を増やします」の方が適切である。

【部会長】全体的な書き方としてはどうか。

【委員】わかりやすくなった。とても見やすい。

【部会長】余白には写真やコラムを入れる予定か。

【コンサルタント】その前提で余白を取っている。

(4) 現計画 4 章について (資料 2) (資料 3)

【コンサルタント】・4 章について説明。

【部会長】意見があるか。

【委員】それぞれの柱をどのくらいのボリュームにするかを決める必要がある。全体の構成にもよるが、あまり多くしない方が良いと思う。

【コンサルタント】1つの柱で1ページ、4章は柱が5本なので5ページのイメージである。

【委員】それでは、1回作ってから議論したい。ところで、水循環についての記載はどうか。

【事務局】水循環は残しても良いと思う。ただし、記述のレベルは地球温暖化と異なると思う。

【委員】P49、P50のタイトルは合わせておいた方が良い。

【部会長】4章は目標を曖昧にしまうと良くないが、あまりに厳しすぎると問題もある。事務局でレベルを詰めてほしい。整理の仕方も、文章は要点程度で図表で見せた方が良いと思う。

【委員】国関係の文章は固くなるので、できるだけかみ砕いた表現が望ましい。

【委員】4章はどういう位置付けになるのか。

【部会長】本来、環境基本計画に盛り込むことが望ましいが、国の状況や時間的な制約、そのために必要な調査などを考慮すると、現実的には環境基本計画に盛り込むことが難しい面もあるため「計画期間内に強化する主な施策」として位置付けている。

【事務局】4章だが、市の目標を明確にするために策定期間などの期限を設けたらどうかという意見もあった。ただし、現実的には期限を設けても、それで財政局が動くわけではない。それよりも、地球温暖化で言えば国の目標値を記載した方が良いと思う。家庭や業務その他で40%くらい削減しなければならぬ。そのことを記載した方が効果があると思う。40%も削減するとなれば、

何かしら計画を立てなければならないという話になる。

【部会長】議会などで引用されることも想定して記載内容を検討したい。コラムとして情報を載せることも考えられる。

それでは、次に協働の仕組みづくりに関する議論をしたい。事務局で資料を用意しているようなので説明をお願いしたい。

【コンサルタント】・資料3説明。

西東京市ではエコプラザ西東京として環境団体が会議などに利用できる活動拠点があり、図書の閲覧・貸出、広報支援や、市民との協働事業が行われている。

【部会長】エコプラザ西東京登録団体（環境保全やリサイクルなどの活動団体）に登録すると利用料金が安くなるようなメリットがあるのが良い。

【委員】やはり環境の拠点や事務所があると良い。

【委員】男女共同参画センターは使用できないのか。

【事務局】男女共同参画センターを占用的に利用するのは難しい。しかし、男女共同参画センターは、登録すれば環境系の団体も利用はできることになっている。可能性として挙げるとすれば、ごみ対策課の庁舎の建て替えがある。ただし、財源の確保が課題である。民間活力を活用するなどの手法が想定されている。

【コンサルタント】おそらく、PFI 事業だと思うが、そうであれば地域に還元する施設の整備なども組み込むことができるのではないかと思う。

【委員】図書館の運営はどうなっているか。

【事務局】指定管理者と直営が1館である。

【委員】図書館の会議室を借りることができれば、拠点になると考えた。

【委員】拠点を設置したら、人を置かなくてはならない。

【事務局】財源的な基盤を強化するのであれば、市から何かしらの業務を受けないと難しいと思う。

【委員】小金井市の市民環境会議も拠点が無いらしい。中心的なメンバーの店舗が会場場所になっているようだ。

【部会長】東久留米市にはすぐに使えるような遊休施設がない、というのはすごいことでは。

【事務局】施設の統廃合で生じた遊休施設は売却するので、結果的に余剰施設が出てこない。

【委員】方向性としては、市民環境会議を NPO 化して、法人化して、ある程度のお金で運営していくということだと思う。

【委員】理想はそうだと思う。環境フェスティバルの運営を NPO が請け負うことなどが考えられる。それに会費制を組み合わせることも考えられる。有料で自然ガイドするなどのアイデアもある。一人雇えるぐらいの収益はほしいとこ

ろである。

【部 会 長】いずれにしても拠点があった方が良い。

【委 員】それぞれの団体のピンポイント的な活動はボランティアでやっているが、それを束ねる基地、センターのような役割を持つ市民環境会議というとなし難いと思う。

【部 会 長】協働の仕組みづくりに関してはもう少し検討を重ねていくことで良いか。たたき台を事務局に作って頂いて、また、みんなで議論したいと思う。

(一同同意)

(5) その他

【部 会 長】次回の環境部会は 10/8 の 13 : 30 からである。

12. 閉会

【部 会 長】それでは第 10 回検討部会を終了する。ありがとうございました。